

第 13 回外洋加盟団体長会議 議事録

開催日時：2020 年 9 月 26 日(日) 14:00～16:20 オンライン会議 (ZOOM) 併用
開催場所：きゅりあん 大会議室 (品川区総合会館)

出席委員等 (下線：会場出席者)

外洋常任委員会

(理事等) 馬場益弘副会長、中澤信夫副会長、大村雅一常務理事、平松隆理事、
橘田佳音理事、望月宣武理事、中村隆夫理事、菊池邦仁理事、新田肇理事、
岩瀬善貞理事、安田大助理事、宇都光伸理事、坂谷定生参与

加盟団体 (代表又は代理)

外洋津軽海峡 (会長代理) 事務局長 井口龍太、外洋いわき会長 (理事兼) 菊池 郁仁、
外洋東京湾会長 足立利男、外洋三崎会長 新田肇 (理事兼)、
三浦外洋セーリングクラブ会長 庄野栄一、外洋湘南 (会長代理) 副会長 浪川宏、
外洋駿河湾 久保田浩、外洋東海会長 坂谷定生 (参与兼)、外洋内海会長 永松馨介、
外洋西内海 (会長代理) 事務局長 小山悟、外洋玄海会長 沼田浩行、
外洋南九州会長 宇都光伸 (理事兼) 外洋沖縄 (会長代理) 事務局長 徳田恭紀

専門委員会・WG

レースマネジメント委員会外洋小委員会委員長 三浦信朗
ルール委員会外洋小委員長 日下部大蔵、
国際委員会外洋小委員会委員長 望月宣武 (理事兼)、委員 鈴木一行
キールボート強化委員会委員長 金子純代、
会員増強WG 平松隆 (理事兼)、艇登録WG 作田智恵子

加盟団体 (事務局)

外洋東京湾事務局長 望月規矩雄、同事務局 斎藤晴彦、同 井上貴支、同 鈴木洋、
同 井田修、外洋三崎事務局長 中里英一、
三浦外洋セーリングクラブ事務局長 関根照久、同事務局 坂口城治
外洋湘南事務局長 作田智恵子 (艇登録 WG 長兼)、外洋駿河湾事務局長 遠藤智
外洋内海事務局長 猪上忠彦、同事務局 北中育子、外洋玄海副会長 大石昌弘、
同事務局長 松田周平、同事務局 井出誠一郎、外洋南九州事務局長 市来孝夫、
同事務局 石川国彦

事務局長

外洋事務局長 鈴木保夫、
JSAF 事務局 寺澤 寿一

(順不同 敬称略) 合計 45 名

馬場副会長の命により、大村常務理事が議長となり、議事録確認署名人に、橋田佳音利氏、足立利男氏兩名を指名した。

I. 挨拶（馬場副会長）

第 13 回団体長会議を開催します。全国各地からのホスト団体の外洋東京湾の皆様のおかげで、新型コロナ禍で、ウェブとリアルのハイブリッドの形で開催できますこと感謝します。時を戻すのではなく、新しいヨットライフに向けて活動していけるように皆で努力していきたい。各地でレースが始まっているが、ガイドラインに沿い感染防止に注意してほしい。今日は、7つの議事とフリートーキングで外洋の将来に向けての皆さんの意見をお聞きしたい、宜しくお願ひします。

II. 議事(説明者；大村常務理事)

1. 2020 年度の外洋の体制について

外洋艇推進グループ組織図説明に続き、同グループ内規第 8 条の外洋常任委員会構成委員に、外洋系ワーキンググループ代表、副会長が必要と認めた者を各（5）、（6）として追加したい。（質疑応答後、全会一致で承認）

2. 会員増強 WG について

短期、中期、長期の視点で、JSAF 外洋系として会員増強ためのワーキンググループを創設し、平松理事をチーフにして活動着手している。

平松理事より補足説明、今春に当該 WG を立ち上げ、外洋系独自の問題点、課題を扱いたい。（承認）

3. 艇登録 WG について

作田 WG リーダーより配布の「艇登録ワーキンググループ提案」にて、現状と問題点、課題整理、提案（新登録制度の設置：会員登録と艇登録を切り離す。新制度では艇所有者の JSAF 会員登録は不問、3000 円の艇料で登録可能。新登録制度でのナンバー取得艇のレース参加に条件付）及び現存メリットにつき説明。現行の艇登録制度は残す。

鈴木委員より、現状、検討背景、メリット、デメリットの説明等の補足があった。

（承認）

4. JSAF 関係

（1）大学生の JSAF 会費免除

外洋加盟団体所属含むすべての大学生の JSAF 会費を免除、既に会費を払った大学生は、来年度の会費を免除する。当該免除会費相当額及び加盟団体還付金相当は、

寄付を募って対応している、外洋系の貢献についても報告があった。

(2) ガバナンスコード

スポーツ庁が進めるスポーツ団体ガバナンスコード（一般スポーツ団体向け）に関する JSAF 取り組み状況、「JSAF 加盟団体実施事項」の説明及び各加盟団体への依頼（2020 年度は、2021 年 1 月期限の公表義務等）、また、大村常務理事より、外洋特有の点もあると思うので、JSAF として作成支援するとの発言があった。

5. 2024 年オリンピック・外洋世界選手権について

(国際委員会オリンピック外洋小委員会鈴木一行委員)

配布の「2020 年外洋混合世界選手権の中止と 2024 年に向けたダブルハンド外洋レース動向」の説明があった。また、11 月開催予定の WS 年次総会にて、パリ五輪、国際ダブルハンド外洋協会設立準備、2021 年ダブルハンド外洋選手権概要（L30 採用）、L30 クラス協会申請などが討議される旨の報告があった。

6. 各団体の状況報告

外洋津軽海峡；レースはできていない。表彰式、パーティなしので大会検討中

外洋いわき：マリーナが無い中、帆走開始の段階

外洋東京湾：計画は全中止、自治体共催のため実施するとしても縮小は必須。

10/17 のベイサイドオープンは開催、パーティ、レース後のイベントは行わない。

東京湾インショアレガッタは開催（全日本ミニトン中止）

会員サービスについて、来年度見直す予定。

外洋三崎：外洋東京湾と同じ状況、相模湾でのレースは、徐々に開催

神子元島レース、初島ムーンライトなど、オーバナイトは、諸課題を検討中。

外洋三崎 SC：6 月は中止、7 月より湘南レースから開催、トランスサガミ実施

10 月に、小網代カップ（オーバナイトレース）

外洋湘南：パールレース中止、8 月のトランスサガミでは、自治体の衛生基準を

周知し、2 週間後の健康状態の確認などで開催、初島ダブルハンドヨットレース、逗子レガッタを逗子ウィークとして同時開催した。

広域感染対策の事前検討が必要。

外洋駿河湾：「もう我慢できないスペシャルレース」開催

成績なし、パーティなしで、メールベースで開催

外洋東海：計画 7 レースのうち既に 6 レース中止、沖縄東海、パールレース等

開催に向けて、新しいスタイルを検討中、海上集合、海上解散など

- 外洋内海 : 3~5月は中止、単独主催が無く、自治体等共催で、全中止
 ソーシャルディスタシングへの配慮の為エントリなどオンライン利用
 も検討中。
- 外洋西内海 : 11レース計画、洋上集合、解散で6大会実施、台風での1レース中止
- 外洋玄海 : 年間10レース(大会)、7月再開するも台風の影響、
 来年のアリランレースも未着手の状況
- 外洋南九州 : 自治体共催は、中止、クラブレースは、8月中旬まで中止となった。
 8月23日に、ウイズコロナカップを開催し参加者に好評だった。
 新型コロナリスク、船内は、艇の自己責任しかないと思う。
 下期は、予定通り開催予定で、ウェブの利用も検討中。
 なお新型コロナについて、会員、艇とも影響はない。
- 外洋沖縄 : 8大会、全中止、離島の賛同が得られないことも理由

大村常務理事より

各地厳しい状況だが、再開に向けての動きもみられる状況だと思う。
 慎重に、活動を進めてもらいたい。

7. 専門委員会

外洋計測委員会：欠席のため、大村常務理事より配布資料にて代行報告

(1) レースマネジメント委員会：

「新スタイルのレース運営マニュアルについて」につき説明

「外洋合同委員会 開催のご案内」につき説明

- ・開催要領：2021年2月6日 東京（きゅりあん）オンライン併用で開催
懇親会無

- ・議事 : 各委員会報告、ルール改正に伴う要点説明

(2) ルール委員会外洋規則小委員会

; RRS改正、外洋系付則、ルールブック販売、同委員会の活動報告があった。

(3) 国際委員会：東京海洋大学とマイクロプラスチックに関する環境学習教材 教材の配布など協力をお願いしたい旨の周知があった。

大村常務理事より

議事関連、関連外を問わず、委員からの質問、意見の確認、

8. フリートーキング

大村常務理事より、「議事録に記録しないので忌憚のない意見を言って欲しい」との発言に対して、出席者より J S A F の現状及び将来について様々な意見が出された。

閉会挨拶（中澤副会長）

JSAF は夢のあるセーリングイベントをすべきと思う。HP の話が出てきたが、皆の画像を UP したい。海外のレースで日本の代表として学生も頑張ってくれているが、日本でもセーリングイベントをやりたい。本来であれば、今年はオリンピックで 470 が金メダルを取れていたと思う。

同 （足立外洋東京湾会長）

今回は懇親会が開催できなかったが、コロナが落ち着いたら皆で楽しい会議をしたい。ウェブ会議推進しながら、対面で会食、懇親を深めることが必要であると思います。

閉会

以上

議事録署名人 橘田 佳音利

同 足立 利男